

2020. 7. 20

畑 啓之

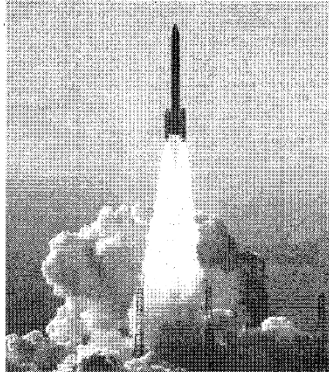
明と暗 明はH2Aロケットの45回連続成功 暗はインターステラ

UAEの火星探査機は無事軌道へ。

暗のインターステラロケット（北海道）はメインエンジン点火せず。

日本経済新聞 2020.7.20夕

UAEの火星探査機「HOPE」を載せ、打ち上げられるH2Aロケット42号機。20日午前、鹿児島県の種子島宇宙センター



火星探査機 打ち上げ成功

UAEから受注のH2A

三菱重工は20日、アラブ首長国連邦(UAE)の火星探査機を載せたロケット「H2A」の打ち上げに成功したと発表した。午前6時58分に種子島宇宙センター(鹿児島県)から打ち上げ、約1時間後に探査機を分離して目標の軌道に載せた。中東の国が飛ばす初の火星探査機となる。

UAEの宇宙機関「ムハンマド・ビン・ラシド宇宙センター」(MBRSC)は「美しい打ち上げを感謝している。日本のパートナーと近い将来一緒に仕事をするのが楽しみだ」と話した。同国は石油など資源に依存する経済からの脱却のため、宇宙探査など科学技術分野の強化に注力している。2017年に火星への移住計画を進めている。

三菱重工のH2Aロケットは今回で42号機になり「H2B」と合わせて45回連続で成功。打ち上げ成功率は両機種合計で98・0%と、世界水準の95%を上回り続けている。

S(C)「から受注した火星探査機「HOPE」を打ち上げた。三菱重工は初めて、火星を周回し水蒸気やチリなどを調査する目的で、2021年2月に火星を周回する軌道に入る。打ち上げは当初は15日の予定だったが、天候悪化により延期していた。

20日の記者会見でMBRSCのユースフ・ハマド・アルシャイバニ長官は「美しい打ち上げを感謝している。日本のパートナーと近い将来一緒に仕事をするのが楽しみだ」と話した。同国は石油など資源に依存する経済からの脱却のため、宇宙探査など科学技術分野の強化に注力している。2017年に火星への移住計画を進めている。

日本経済新聞 2020.7.20

インターステラテクノロジズの失敗記者会見

点火器の着火が上手くいかず

<https://www.youtube.com/watch?v=qPvwDKMEkW0>

小型ロケット 打ち上げでまずインターステラ

ロケット開発スタートアップのインターステラテクノロジズ(IST、北海道大樹町)は19日、小型観測ロケット「MO

MO(モモ)「7号機を打ち上げようとしたが、射場から発射させることができなかった。

打ち上げの数秒前にメインエンジンが点火せず、制御プログラムが自動で緊急停止したとみられる。

